



5km 夫婦の部で優勝した河合伸哉さん・美奈子さん（敦賀市）
アップダウンが多く大変でしたが、その分ゴールした時の達成感を味わえるコースだと思います。ぜひ来年もこの部門に出場したいです。



10km50歳以上男子の部で優勝した紫英人さん（鯖江市）
10年ぶりの参加です。優勝できてうれしいです。来年もスケジュールが合えば、ぜひ出場したいと思います。



10km40歳以上女子の部で優勝した橋本美奈さん（敦賀市）
2回目の出場です。今日は完走が目標でしたが、優勝できて驚いています。風とアップダウンが大変でしたが、気持ちよく走れました。



第34回

美浜・五木ひろしふるさとマラソン



①丹生大橋を歩く参加者（ウォーキングの部）②・③潮風を感じながら走るランナー④竹波給水所⑤ゴール後のチップ回収⑥10km30歳代男子ゴール⑦10km折り返し⑧会場入口での検温⑨丹生特設会場駐車場誘導ボランティア⑩消防団・防犯隊による会場警備

Staff Interview



丹生特設会場駐車場 茂道高広さん（丹生）
コロナ禍においても、ランナーにとって走れる場があるのは、良かったのではないかと思います。早くコロナが収束して、以前のような賑わいが戻ってほしいです。



物産展に出店 美浜町社会福祉協議会の皆さん
コロナ対策をしながらという難しい中で、関わらせてもらいました。今回は、3年ぶりということもあり、楽しんで参加させていただきました。



ゴール救護所 若狭医療福祉専門学校 上羽大地さん（左）、橋本奨汰さん（右）
医師の方と活動することで、さまざまなことを学びたいと思い参加しました。大きな事故等がなく、良かったです。



●記録（敬称略）

部門	参加者数(人)	優勝者	タイム(分:秒)
10km29歳以下男子	18	福田 教人（敦賀市）	34:37
10km30歳代男子	30	宮川 朋史（敦賀市）	33:19
10km40歳代男子	45	稲垣 芳隆（坂井市）	35:36
10km50歳以上男子	77	紫 英人（鯖江市）	37:29
10km40歳以上女子	13	橋本 美奈（敦賀市）	40:22
5km29歳以下男子	15	松下友一郎（小浜市）	16:55
5km30歳代男子	27	前原 孝弘（敦賀市）	17:25
5km40歳代男子	23	中村 英志（敦賀市）	16:58
5km50歳以上男子	29	山本 恭弘（鯖江市）	18:56
5km39歳以下女子	4	河合美奈子（敦賀市）	19:37
5km40歳以上女子	11	園田有貴江（敦賀市）	25:52
3km50歳以上男子	26	高野 芳映（敦賀市）	12:22
3km一般女子	10	国政 美妃（敦賀市）	12:04
5km夫婦の部	4組(※)	河合 伸哉（敦賀市） 河合美奈子（敦賀市）	39:40
3km(ウォーキング)	102	102人(計測無し)	
合計	430	※夫婦で同距離部門にエントリー	

5月8日に、第34回美浜・五木ひろしふるさとマラソンが、3年ぶりに丹生特設会場を発着点とした海岸線コースで開催されました。

今大会は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、県内の参加者に限定して開催され、マラソン・ウォーキング合わせて430人が晴天のもと、風光明媚な海岸線コースで健脚を競いました。

今回、五木ひろしさんは、スケジュールの都合によりご参加いただけませんでしたが「楽しく元気に走り、歩いてください」と、応援メッセージをいただきました。



↑五木ひろしさんからのビデオメッセージ



↑選手宣誓をする西村航さん

美浜町観光振興計画を改定



■計画改定の経緯

美浜町観光振興計画は、本町の観光の現状や課題等を整理し、それらに対応する具体的で実効性のある観光施策を推進するため、平成26年3月に策定されたもので、平成26年度からの10カ年計画となっていました。

同計画は、計画期間の途中ではありましたが、北陸新幹線敦賀開業やそれを見据えた観光施設の整備が進む等、観光を取り巻く環境が大きく変化したことから、今回の改定を行いました。

■本町の観光における課題

本町の観光入込客数は、年々減少傾向にあります。その主な要因として、後継者不足等による宿泊施設の減少のほか、アウトドアアクティビティを好む旅行者の増加や、ワーケーション等、多様化する観光ニーズへの対応の遅れが挙げられます。

■計画改定の方法

今回の改定にあたっては、町民への意識調査や旅行会社へのヒアリング調査の結果をもとに、観光に関する知識経験者や町議会議員で構成された「美浜町観光開発審議会」や町内の観光等に携わる実務者で構成された「美浜観光まちづくり会議」で協議を重ね、本年3月にはパブリックコメントを実施しました。

それらの結果を踏まえ、4月22日に、美浜町観光開発審議会の総田はるみ会長（横浜商科大学教授）が戸嶋町長に答申し、これを受けて町が策定しました。



↑戸嶋町長に計画を答申する総田はるみ会長（右）

■計画の概要

町では、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業や令和7年の日本国際博覧会を好機と捉え、新たな観光施設の整備等も進む中、本町の主要産業の一つである観光産業に力を注ぎ、多様な魅力に富んだ観光まちづくりを推進します。

計画では、道の駅やイチゴ観光農園等、新たな交流拠点を活用した周遊促進と消費拡大を図るとともに、

町内を三方五湖ゾーン、新庄山里ゾーン、敦賀半島西海岸ゾーン、ヒストリーゾーンの4つのゾーンに分け、各地域の特色の異なる観光資源を生かすための取り組みを掲げ、ゾーン間の連携も促進します。

計画期間は令和8年度までとしていますが、観光を取り巻く環境に大きな変化が生じた場合は、必要に応じて計画の見直しを図っていきます。

数値目標	令和8年の目標値 ※（ ）は令和3年実績	
	①観光入込客数	135万人
②宿泊客数	7万3千人	(4万3千人)
③旅館・民宿の稼働率	15%	(9%)



↑ゾーン分けの概要

目指すべき将来像 自然と食でおもてなし 人と人が絆がる 活気とにぎわいのまち

三方五湖ゾーン

■レインボーライン・山頂公園の充実

○「観光道路」としての景観維持やプレミアム空間化の検討

■旅館・民宿の活性化

- 地元食材を活用した「食」の魅力化
- 泊食分離の検討を含めた事業継続への取り組みの推進
- 宿泊施設の特徴を踏まえた受入環境の整備

■三方五湖及び周辺の環境整備と活用

- 展望スポットや休憩スポットの整備
- ボートを活用した観光促進
- 周辺エリアとの連携によるサイクルツーリズムの推進
- 電池推進遊覧船の利用促進等



↑レインボーライン（レストラン&カフェRAINBOW）
↑電池推進遊覧船

新庄山里ゾーン

■「大自然トレイル」の活用

- 若狭路・美浜トレイルと高島トレイル（滋賀県）の連携
- 入山体制の構築

■空家の活用

- 空家のコワーキングスペース（※）への活用検討
- ※異なる仕事を持った人が同じ場所に集まり、作業場を共有すること。

■既存資源の活用

- 自然体験館鹿野苑の活用
- シビエ料理に触れる機会の創出
- 深流の里における新たな養殖技術の検討
- 新たなアウトドアメニューの造成・検討等



↑若狭路・美浜トレイル

敦賀半島西海岸ゾーン

■安全・安心・快適なビーチの魅力化と景観の活用

- ビーチ利用者へのマナー啓発
- 美しい浜プロジェクト等による海岸沿いの景観維持
- フォトコンテストの開催等

■「きいばす」でのエネルギー環境教育体験

- 体験メニューの充実
- 教育旅行の誘致
- 休日における利用促進

■観光向け宿泊受け入れの推進

- 宿泊事業者の経営意向と課題の確認
- 宿泊施設のリフォームやWi-Fi環境等の整備・観光客受入体制の推進



↑水晶浜海水浴場

ヒストリーゾーン

■史跡・文化財・祭事等の活用

- 歴史資源の掘り起こしと磨き上げ
- 歴史資源と旧丹後街道をつなぐストーリー作り
- 歴史ガイドの育成
- 地域祭事の活用とPR
- 観光事業者への周知



↑若狭国吉城歴史資料館

※計画の詳細は、町ホームページをご覧ください。

美浜町観光振興計画

検索

※お問い合わせ先

町観光戦略課(担当・山本) ☎32-6705

うま 美し野区が設立されました



↑区内の公園

町では、次代を担う若者や子育て世代の定住を促進するため、平成27年度に美浜東「美し野」ニュータウンを整備し、分譲を行ってまいりました。平成28年度の方譲開始後、全57区画が完売したことから、本年4月1日付けで、当該区域が美し野区として設立されました。

美し野区には、現在約200人が居住し、区内には公園や公衆トイレが整備されています。4月22日に、町生涯学習センターが美し野区で行われた区長会では、美し野区の三島渉区長が、



↑区長会への加入を届け出る美し野区の三島渉区長(左)



←区内の環状交差点(ラウンドアバウト)。中央には時計台を設置。

行政区の設立報告と区長会への加入を届け出ました。

町内で行政区が設立されたのは、平成元年の矢管区以来33年ぶりです。町内の行政区は38区(自治会)となりました。(関連第21頁)

地域あいあいポイント手帳がアプリに!



町では、5月20日から地域あいあいポイント手帳に代わるスマートフォンアプリの配信を開始しました。

このアプリでは、町や登録したグループからのお知らせを受け取れるほか、これまで手帳で管理していたあいあいポイントをアプリで管理し、貯まったポイントは、これまでどおり町内で活用できる活動奨励品と交換できます。

なお、地域あいあいポイント手帳もこれまでどおり利用できます。

地域あいあいポイント事業とは

町に事前登録した団体やグループが「地域貢献活動」や「健康づくり活動」に参加した場合、その実績に応じてポイントがもらえる事業です。

貯めたポイントは、町内で活用できる活動奨励品と交換できます。



↑地域貢献活動 (保育園でのボランティア)



↑健康づくり活動

対象者

町内にお住まいの60歳以上の方

アプリの便利な機能

- ①簡単にポイントが貯められる
- ②町や登録したグループからお知らせが届く
- ③ポイントを活動奨励品と交換できる

ダウンロードはこちら



■ iPhone の方は ■ Android の方は

App Store

Google Play

あいあいポイントアプリ

検索

アプリ操作に関する個別説明会を開催します

【日時】

5月25日(水)から9月21日(水)までの毎月第2・4水曜日
午前10時~11時30分

【場所】

美浜町役場
※変更する場合があります。

【定員】

各回5名(要予約)
※予約の締め切りは、実施日の2日前です。



【費用】

無料

【持ち物】

お手持ちのスマートフォン、眼鏡(必要な方)等

【予約】

町健康福祉課までお問い合わせください。



※お問い合わせ先

町健康福祉課(担当・浅妻) ☎32-6704

令和3年度 エコクル美方「ガス化熔融施設」 公害関係の測定結果について

美浜の環境
シリーズ148
environment

エコクル美方ガス化熔融施設の令和3年度の稼働実績は、定期修繕工事等に伴う約2カ月の運転停止期間はありましたが、当初の年間運転計画に基づいて予定どおり運転を行いました。

令和3年度の排ガスの測定結果は、下表のとおりすべての項目において法排出規制値を下回り、安全な運転状況を確認しています。

なお、今年度からは敦賀市清掃センターでの焼却処理を行っているため、今後は同センターの測定結果をお知らせします。



↑エコクル美方(右奥がガス化熔融施設)

▷排ガス測定結果

測定項目	測定実施日及び測定結果(令和3年度)				法令による排出規制値
	5月31日	8月12日	11月25日	2月7日	
ダイオキシン類	0	0.00083	0.0011	0.0018	5 (ng-TEQ/Nm ³)
ばいじん濃度	0.0034未満	—	0.0032未満	—	0.15 (g/Nm ³)
硫黄酸化物排出量	0.11未満	—	0.10未満	—	16.15 (Nm ³ /h)
窒素酸化物濃度	87	—	67	—	250 (ppm)
塩化水素濃度	11	—	10未満	—	429 (ppm)
一酸化炭素濃度	10	7未満	7	10	— (ppm)
用語・単位の参考説明	質量: ng (ナノグラム) …10億分の1gを表す単位 体積: Nm ³ (ノルマルリュウベ) …1気圧0℃の1m ³ の体積を表す単位 濃度: ppm (ピーピーエム) …100万分の1を表す単位 毒性当量: TEQ(ティーイーキュー) …実測濃度に係数をかけて濃度換算したダイオキシン量の単位				

※お問い合わせ先
美浜・三方環境衛生組合 ☎45-1215
町住民環境課(担当・志賀) ☎32-6703

美浜町の魅力を体感・発信 地域おこし協力隊が活動を報告

■お問い合わせ先
町観光戦略課(担当・上道)
☎32-6705



↑柏京佑さん(獣肉加工施設 BON1029で活動)



↑前田義博さん(溪流の里で活動)



↑時任清矢さん(三方五湖DMO(株)で活動)

4月26日に、町役場で地域おこし協力隊の活動報告会が行われました。報告会では、令和2年4月から活動している柏京佑さん(宮城県出身)と前田義博さん(兵庫県出身)、令和3年4月から活動している時任清矢さん(大阪府出身)が報告を行いました。

柏さんは、ジビエに関する活動や新庄区民とともに実施したテントサウナイベントを報告し「たくさんの方々のおかげで無事やり切ることができた」と話されました。

前田さんは、マスの養殖やアウトドア交流イベントへの参加、宿泊イベントで

の魚の生態に関する授業や子ども向けに実施したことを報告し「今後はヤマメ等の短期養殖にも取り組みたい」と意気込みを述べました。

時任さんは、三方五湖におけるサイクリングを中心としたイベントの企画・運営に携わり、全国から集まった参加者に美浜町の魅力を発信したことを報告しました。「今後は、大規模な大会を開催し、美浜町は楽しくて魅力あふれる土地であることをPRしていきたい」と話していました。

柏さんは、2年の任期を終え、前田さんと時任さんは、引き続き地域に根ざした活動を続けていきます。

一人前の農家を目指して 農業人材育成拠点施設に入校

■お問い合わせ先
町産業振興課(担当・渡辺)
☎32-6706



↑入校生の今安亮介さん(左)と太田浩義さん(右)

4月27日に、美浜町農業人材育成拠点施設の入校式が同施設(河原市)で行われました。

2期生となる入校生は、ふくい園芸カレッジで1年間学んだ太田浩義さん(大阪府出身)と今安亮介さん(美浜町在住)で、今年1月から座学やビニールハウスの実務研修、就農計画策定等に取り組んでいます。

入校式で、戸嶋町長は「技術だけでなく、販売加工や接客までを体験できる。



↑入校式の出席者たち

2人には美浜の農業の発展に力添えしていただきたい」と述べました。

太田さんは「地域とのつながりを大事にしながら研修に取り組んでいきたい」、今安さんは「後継者が出てきてくれるような農家になりたい」と意気込みを述べました。

同施設では、昨年4月から研修を始めた1期生2人のうち、1人は町内で就農し、もう1人は研修を続けています。